

森川先生のお言葉

『踊る大漕査線@今治』、完結しました。皆様のおかげで無事犯人を確保することができました。本当にありがとうございました。今回の容疑者はクォドルプルという超大物でした。これを確保することができ、本当に嬉しく思います。支えてくれた方々に対して感謝の気持ちでいっぱいです。

昨日は大会最終日。準決勝・決勝がありました。応援して下さる皆様はどう思ったか知りませんが、私にとってこの準決勝が最大の山場でした。(一番怖がっていたのかもしれませんが!) 漕手にはあまり悟られんように、COXの八重樫だけにはいろいろと戦術を指示していました。レース前日の組み合わせが決まった時に選手たちに「この準決勝、トップで抜けたら頂点まで行くでええ～～！」と言っただけです。その準決勝レースをGoodな形で勝ち上がり、ホッとしていたのも事実です。

そして迎えた決勝、選手たちにはこう言いました。「泣いても喚いてもこれがインターハイラストレース。(国体では岡山選抜だから)関西高校のユニフォームを着て、そして関西高校の名で勝負するのはこれがラスト。お前らの好きなようにやってこい!思いきり楽しめ!絶対大丈夫や!」と。

男子舵手付きクォドルプル決勝、レース No. 164 14時19分発艇。Attention Go! 関西艇は得意の(得意になった)ロケットスタートを決め、500の中間で他艇より半艇身リード。そして、早めにスパートを掛けるもじわじわと福井が攻めてきました。「関西いけえ～～!先にゴールに届いてくれえ～～!」と祈るように戦況を見つめていました。先にゴールブザーを鳴らしたのは関西クルー。何とかキャンパス差でFinish。(差は約0.6秒) 部員たちは湖面いっぱいに広がる雄叫びを上げてガッツポーズをしていました。

そう、ついに選手たちにとってついに夢の扉が開いたのです。私は、陸に揚がってきた選手たちと泣きながら抱き合いました。ただただ「ありがとう」としか言えませんでした。

本当によくやった。おめでとう。感動をありがとう。おめえら、かっこいいい～～!!



日本一のキャプテンの**石井敦貴**です 笑

今日は本当に、本当に沢山の応援ありがとうございました。M高校が食らいついてくる中あの津波のような声援に助けられました。僕はレースの直前にクルーに「苦しい時は支えてくれた人の顔を思い出そう」と言っていました。先生とたつきさんからとにかく笑顔でいこう！とアドバイスをもらいました。それを自分達はできました。ステッキボートにつけてからもみんなで声をかけ合ったり、君に胸キュンキュン♪と歌ってました。全然緊張しなくていつも通りのレースができました。ゴールした直後は自然と拳を天に向けてました！やっと日本一になれたあ！と感動しました。そしてみんなで関西高校の校歌を歌いました！

陸に上がると知らない人からもおめでとうございます！と沢山言ってもらい、もう。最高。って感じでした笑そしてなによりも森川先生のラストチルドレンとして先生の男の花道を飾れてそれが本当に嬉しかったです。本当に嬉しい!! よかった!! 日本一だ!!

アツキ父 最終日、早朝、読むか読まないかわからない息子にメッセージを送りました。

「今までキャプテンとしてのあり方に悩み苦しんだ日々、結果が出せなかった悔しさ…これまでの苦しみが今日の勝利、日本一という快樂に変わることを心から祈ってる。お前たちならやれる!! 頑張れキャプテン敦貴!! 」と

そして、向かえた決勝。attention go. 750mの少し小高い場所からエールを送る。頼む。頼む。見えてきた先頭はブルーにオレンジラインが光る関西ローズ。そして一糸乱れぬネイビーブルーのオール。そこからは、ひたすら、喉がつぶれてもかまわない。そんな思いで声援を送りました。いけーいけー関西一！そして…微かに見えるゴールライン…関西クルーがガッツポーズ！よっしゃーよっしゃー勝ったーとそこから嬉し涙がとまりませんでした。保護者会全員が歓喜に溢れました。それと同時に、この勝利はクルーたちの絶え間ない努力はもちろんですが、他には負けない関西ボート部関係者の方々の応援力の結晶だと心の底から感謝しました。そして、閉会式会場近くに現れたのは私たちにとっても恩師、森川先生。これまで見たことのない子供のように喜びに溢れた顔で両手を高々と上げて我々のところに。まずは感謝の握手をと…思いましたが、気づくと抱き合っていました笑、嬉し涙を流す先生を見てまた涙が…本当に本当にありがとうございます。大会中のアクシデント…先生のサポートがあったから勝てた。息子が漢になれたそれを知りました。

大会前、みんなは勝っても負けても家族にとって自慢の息子。思いっきり頑張れ！と言ったけど、やっぱり勝ったら半端ねー!! 誇らしい。家族の、関西高校の、岡山の…みんなの誇りになりました。

おめでとう!! そしてありがとう!!

あとは国体のみ。今回の優勝は通過点。最後に勝ってこそ男の花道を飾るラストチルドレンの任務達成です。是非これからさらに進化してください。しなければ勝てません。そして、ダブルスカル、シングルスカルの選手も今回の結果、悔しさをバネに、1番への執着心をさらに燃やして切磋琢磨してください。

それにしても、やっぱり1番は半端ね～～～!!

アツキ母ここまでよく頑張ったと子ども達を褒めてあげたいです。こんなにも感動をさせてもらえるなんて息子達に感謝です。夢にまでみた「日本一」を本当にとってくれるなんて君たちは本当にカッコよかった！優勝おめでとう！

3年の**長崎富生**です

スタートから出るリードを保ったままゴールすることができました。やはり出たら疲れない、これを改めて実感しました!! OB 保護者や後援会や保護者の皆さんありがとうございました。まだまだ TEAM 関西は、上を目指していきます。国体では二連覇がかかっているのもっと進化して、体力、筋力、メンタルを進化してやっていきます。

TEAM 森川最高—————!!!!

長崎母子供達 頑張ってくれました! 本当に漕ぐ姿はカッコよくて、とくにゴールした瞬間 両手を高く上げガッツポーズした姿は、何度思い返しても涙が出てきます! 日本一 本当にすごい!! 感動しました!

3年の**宮内**です。

クォードのレース展開はスタートからトップに立つことができ、500m でもリードを保つ事ができ、そのままゴールする事が出来ました。

ゴールした瞬間本当に日本1を取ったのか?今でもまだ実感が湧きません。ですが今までやってきた事の集大成になったと思うのでとても嬉しいです。

宮内母 『TEAM アツキ』本当によく頑張ってくれました。たくさんの感動をありがとう!! あのゴールした瞬間の雄叫び、ガッツポーズを思い出すと胸が熱くなります。カッコいい子供達を動画でも何度も何度も見てしまいます。『夏の勝者は真の王者』TEAM アツキ、春の選抜大会から成長. 進化した結果ですね!!

3年の**八重樫**です。

結果からダブルが5位 クォドルプルが優勝!! 沢山の人の期待に応えられて嬉しく思います!そして、森川先生の LASTchildren の年に優勝出来て鳥肌ものです。笑

今大会、スマイルがキーワードだったと思います! 笑って行ったから自分達は優勝したんだと思います!

やっぱり、インターハイの優勝は一味違う! やっぱ気持ちいい~こんなにも世界が違うんだと感じました! 先生から強い者が勝つじゃない! 勝った者が強い! とずっと言われてきて、本当にその通りだと感じました! やっぱり、面白い! 笑った者が勝つ! 福を呼んだ気がします! 笑笑 僕達はしゅえーことやっちゃいました! 笑笑

2年の**石井大和**です!

まず予選から決勝まで応援して下さった皆さんありがとうございました! 自分たちクォードは日本一を取ることが出来ました。とても嬉しいです! この結果は色々な方々の支えがあって取ることが出来たのでこれからも感謝の気持ちを忘れず頑張っていきます! レース中保護者の方々の声が聞こえて焦らずにいくことが出来ました!

大和母ゴールした後アツキママに抱きついて

「ありがとうございました。ありがとうございました。」

ありがとうございましたを何回言ったのだろう~泣きながら連呼していました。

こんなに感動して涙をながしたのは初めてです!!



2年の田川です。

今日、準決勝で自分たちは2位でゴールして決勝は逃してしまいましたでも、順位決定戦で1着でゴールして5位という結果になりました。先生、たつきさん、保護者の皆さん支えてくださった人ほんとに暑い中応援ありがとうございました。今回自分はやりきることもできたし、楽しくレースが出来たととてもいい経験になりました。ありがとうございます。でもやっぱり悔しいです。自分の課題があると思うので1からやり直します。クォードのゴール直後のガッツポーズを見てとても鳥肌たちました。やっぱりクォードは凄かったです。自分もあのガッツポーズを見る側ではなくする側になりたいと思いました。来年必ず優勝するので待ってください。

田川父クォドルプルの選手の皆さん最高にカッコよく痺れました。ゴールした瞬間の雄叫び…感動させて頂きました。またダブルの選手も順位決定戦にまわってしまいましたが最後まで心折れず力漕する姿にも感動させて頂きました。感謝を感動で返す…有言実行出来たのではないのでしょうか。

3年の入澤です。まずはインターハイでの応援ありがとうございました。クォードは優勝し自分たちダブルは5位入賞という結果になりました。目の前でクォードの優勝を見てやはり自分達の結果に悔しさが溢れました。決勝に上がることすらできず他の決勝戦を指をくわえて見ていることしか出来ないことがとても悔しかったです。

2年の柏野です

今回のインターハイ棄権になってしまいました自分の確認不足で転覆してしまい焦ってそのまま復帰してゴールしていれば敗者復活戦に出場できたのですが落ちたことに慌てて焦ってしまい復帰ができず救助してもらい棄権になってしまいました応援してくれている人達をがっかりさせてしまいましたすいませんでした

予選が終わってからはサポートとしてクルーボートのサポートをしていましたクォードは優勝ダブルは5位入賞みんなが結果を出して喜んでいる輪に入れていないことがすごく悔しかったです

焦ってて??

そもそもルールを知らなかったはずでは?

福田コーチ

柏野母途中で転覆してしまい棄権の結果、大変不甲斐なく恥ずかしい気持ちですが、この経験を活かし、必ず気持も、考え方も、技術もステップアップしてくれると信じております



何だか福田コーチは厳しいなあ。よっぽど思う処があるんじゃないかなあ
私のヤラカシのせいなんかなあ

← 補漕で来てくれた庵谷、豊田、秋山

聞け!勝利の雄叫びを!!



どや顔の何が悪い?



勝った者の特権じゃ!!



ボート男子かじ付き4人スカルで優勝した岡山県代表は、今治市玉川湖ボートコース

(公財)全国高等学校体育連盟 (公社)日本ボート協会 愛媛県 愛媛県教育委員会 今治市
 ツ斤 (公財)日本スポーツ振興センター 日本放送協会 (公財)岡山県スポーツ協会 今治市スポーツセンター
 体育連盟水泳部 愛媛県高等体育会 愛媛県ボート協会



高校総体 ボート男子かじ付き4人スカル
関西11年ぶりV

全国高校総体(インターハイ)のボートは14日、愛媛県今治市で行われ、男子かじ付き4人スカルで関西が11年ぶり4度目の優勝に輝いた。今大会で岡山勢の団体種目の優勝は初。(13面に関連記事)

4艇が争う決勝(1000m)で関西(八重樫弦、宮内陽色、長崎富生、石井大和、石井敦貴)は、スタートダッシュに成功して先行。他艇の追い上げを振り切り、2位に0秒65差の3分18秒72で頂点に立った。

関西として高校ボートの「花形種目」で久々の栄冠。レース後、石井敦貴主将は「夢に見た日本一。まだ実感がない」と率直な心境を語った。

(中原由華)

山陽新聞一面   地域スポーツ欄

令和4年8月15日 月曜日

関西心一つ 歓喜の頂

ダブルスカルは5位

全国高校総体(インターハイ)が3日18時、愛媛県今治市玉川湖ボートコースで開幕。14日、男子かじ付き4人スカルで関西が11年ぶり4度目の優勝に輝いた。今大会で岡山勢の団体種目の優勝は初。



ボート男子かじ付き4人スカルで11年ぶりの頂点に立ち喜ぶ関西の(右から)八重樫弦、宮内陽色、長崎富生、石井大和、石井敦貴=今治市玉川湖ボートコース

4人スカル 磨いたスタート結果

湖上には、選手たちが汗を流しながら、スタートダッシュを競った。石井敦貴主将は「夢に見た日本一。まだ実感がない」と率直な心境を語った。

石井敦貴が言うほど本番を想定したレースを演じ、自信を持って迎えた大会だった。

来春で定年を迎える岡山監督の言葉で選手を背中を押した。石井敦貴は「絶対日本一を奪取したい」という思いを込めて、選手たちを鼓舞した。

ダブルスカルは5位

全国高校総体(インターハイ)が3日18時、愛媛県今治市玉川湖ボートコースで開幕。14日、男子かじ付き4人スカルで関西が11年ぶり4度目の優勝に輝いた。今大会で岡山勢の団体種目の優勝は初。

アジアカジュニア選手権の日本の戦い

日	予選L	予選H	準決勝	決勝	相手	スコア
7月5日	3-0	3-0	3-0	3-0	台湾	3-0
7月6日	3-0	3-0	3-0	3-0	台中	3-0
7月7日	3-0	3-0	3-0	3-0	ウズベキスタン	3-0
7月9日	3-0	3-0	3-0	3-0	インド	3-0
7月10日	3-0	3-0	3-0	3-0	韓国	3-0
7月11日	3-0	3-0	3-0	3-0	中国	3-0

バレーボールの20歳以下で争われたアジアカジュニア女子選手権(7月4~11日・カザフスタン)に岡山シーガルズの新人レフト佐伯亜紗加が日本代表として出場し、2大会連続優勝と来年の世界ジュニア選手権出場権獲得に貢献した。18歳のアタッカーに初めて日の丸を背負って戦った思いや今後の目標を聞いた。(近藤晋也)

佐伯(シーガルズ)国際舞台で躍動

バスケットボール男子の国際強化試合は14日、セビリアアリーナ(スペイン)で行われ、世界チャンピオン

バスケットボール男子の国際強化試合は14日、セビリアアリーナ(スペイン)で行われ、世界チャンピオン

バスケットボール男子の国際強化試合は14日、セビリアアリーナ(スペイン)で行われ、世界チャンピオン

愛媛から帰って来た子供たちはOB今東君に焼肉をご馳走してもらい勝利の美食を味わっていた。直ぐに国体に向けての練習が始まるから喜びはしゃぐのも今だけです。ここで満足したら自慢の鼻をへし折られる事になる。クオドの決勝レースを見ている艇がレーンの真ん中を進んでいなかった。下手をすればブイパコしそうにも見えた。そういえば、息子さんに優勝を知らせると

「らしいな」と返事する。何で知ってるのかなと聞くと

「おかんのFB見て植田が19年のグループラインで言うと思った。」そうです。広まる速度も半端ないようです。毎年、関西の話は息子にしているのですが、ほぼ右から左に聞き流していますが今回は一言聞いてきました。

「COXはアノCOXなんか？」

「・・・うん。アノCOXだよ。八重樫君」

「やっと勝てたんか。良かったなあ」

ちょっと変な喜び方です。やはりCOXが気になるんですね。

「俺も観に行けば良かったなあ。」

一応誘ったんですよ。別行動で良いから行かないかって。折角の長い盆休みボーツと過ごしてました。おっさんの過ごし方だとしても、勿体ないよね。

それからもう一つ、息子も私も同じ気持ちで優勝を喜んでいました。M高校に勝ったからです。因縁のM、ライバルのM、ムカつくM高校・・・打倒M高校の気持ちは今でも続いています。朝日で「ザマーミロ」と言われ、インハイでは主力がJr.に二人選ばれ「ピーンチ」と揶揄され、どれだけ嫌な思いを募らせた事か。今、思い出しても腹が立ちます。国体優勝の帰りに福井のS.Aで夜空に向かって「ザマーミロ」と叫んでしまいました。



令和4年度全国高等学校総合体育大会
第70回全国高等学校選手権競漕大会



勝てば色々やって来る。



ラヂオ出てるし・・・。8月25日 午前8時03分、岡山シティ FM Radio MOMO
『朝刊ラジオ 元気岡山』

勝ったならお礼もしっかりしないとね。



OHK Live News(18:09～)にまたまた関西クルーが登場します。
『インターハイ特集』のコーナーで紹介されるようです。



投稿されたインターハイ感想文です。

絶対大丈夫！

関西高等学校 石井敦貴

私達、関西高校は団体種目の舵手付きクォドルプルで11年ぶり4回目の優勝をすることができました（舵手付きフォアを合わせると5回目）。これまでなかなか勝つことができず、私はチームの主将として、悩み苦しむ日々でした。

思い返せば、昨春の私が一年生でクォドルプルのパウで出場した全国選抜大会。決勝で2着でゴールしたと思っていたら、進路妨害で除外となり6位降着。そんな悔しい先輩達の想いも背負って「捲土重来」（一度敗れたり失敗したりした者が、再び勢いを盛り返して巻き返すこと）をスローガンに今春の選抜大会に臨みました。しかし、そこでも一步届かず2位。悔しい思いをしました。

ところが、私達は心のどこかで選抜2位という結果に満足していたのかもしれませんが。それがわかったのが朝日レガッタ。「選抜2位だし優勝できるだろう」と過信していました。結果は4位。森川先生に「お前は選抜の結果にお腹いっぱいになっていたのではないか？常にStay Hungryや！」と言われました。そこからはチーム内、そしてクルー内でも、今のスピードに満足しない。もっとスピード出んのんかあ！？と話し合っていました。すると前よりも艇が自分の下を滑っている感覚というものが掴めるようになり、毎日の練習が楽しくなっていました。そして森川先生は私たちの経験値を上げるため、色々な場所に合宿に連れて行って下さり、たくさんの他校のクルーと練習させて頂きました。その経験が自信にも繋がったと思います。

そして迎えたインターハイ。昨年ダブルスカルでインターハイ優勝した先輩方のことを森川先生から何度も聞かされました。先輩たちは毎日の行動から勝つ匂いがプンプンしていたそうです。だから、行動から勝てる雰囲気を作っていこうとやってみました。しかし、そう上手くはいかず、先生から「チームの雰囲気が暗い！行動がヌルい！全然勝てる雰囲気じゃない！」と厳しく叱責されました。そこで夜のミーティングで皆に「とにかく、あ・ほ・か（明るく・朗らか・活発に！）をやっていこう。そして余裕を作ろう！先生に怒られて暗くなるとる場合じゃない！」と話しました。

しかし、それを言った当の本人である私が大会期間中の練習で腰を痛めてしまい、思わずみんなの前で弱音を吐いてしまいました。その時、先生に「お前はアスリートとして、主将として失格や！弱音を吐いたらあかん！この怪我は今までの弱い自分を変えるためのチャンスや！絶対大丈夫！」と

そしてついにインターハイ最終日決勝。「とにかく笑っていけ！あとはお前達のやりたいことをやって、思い切り楽しんでこい！絶対大丈夫！」と森川先生と福田コーチにアドバイスをもらいました。レースアップからスタートするまで私達は声を掛け合ったり、歌ったりと、とにかく楽しんでいきました。Attention Go！今まで苦手だったスタート、力漕いで出ることができました。そしてGet ahead, do not get tired.（前に出れば疲れない！）という先生の言葉通り、前に出れば余裕が生まれました。しかしどンドン迫ってくる他艇。そこでクルー内で「絶対大丈夫！いける！」と声を掛け合い、最後は根性で上げてなんとか逃げ切り、ゴール！ずっと夢だった日本一の雄叫びができました。今までの弱い自分に勝てた。今までの苦しい事が報われた。そんな気がしました。

私は、陸に上がって号泣する森川先生と抱き合いました。私たちは先生のラストチルドレンとして先生の男の花道を飾れたことが何より嬉しかったです。先生はただただ「ありがとう！ありがとう！」と言うばかりで、感謝したいのは僕らなのに……。私たちも涙が止まりませんでした。先生に少しでも恩返しができたと思いました。

今回優勝できたのはいつもそばで支えてくれている家族、毎日熱心に指導して下さる森川先生、先輩でもありコーチとして兄貴的な存在でサポートして下さる福田コーチ、共に練習をしてきた仲間たち、他校のクルーの方々、本当に皆様のお陰です。感謝の気持ちでいっぱいです。今後は日本一になったという自覚と責任を持って謙虚に行動していきます。

最後にこのようなコロナ禍で大会を開催して下さった大会関係者の皆様、本当にありがとうございました。



コミュニケーションツール

関西高等学校 八重樫 弦

昨春、選抜大会では2位でゴールしたが、隣レーンを妨害したとして6位降着になってしまった。当時一年生COXだった私は、先輩たちの一生に一度の大会をこんな形に終わらせてしまったという絶望感に押しつぶされた。そして今春の選抜大会では、卒業した先輩方の想いを背負っての大会であったが、2位に終わってしまった。

「どうしたら勝てるのか？」「勝つチームとは何なのか？」そこで先生からこのチームに足りないのはコミュニケーションだと言われた。そのコミュニケーションツールは口である。確かに話合わなければ相手の気持ちは解らないし、自分の気持ちも相手に伝わらない。だから私たちは、チーム内はもちろん、クルー内でもコミュニケーションを大切にしてきた。そこから無我夢中でひたすらに練習する日々が続いた。インターハイ出発4日前、スピードに伸び悩み、険悪ムードになりながらもコミュニケーションを取り合った。

そして迎えたインターハイ。毎日のように先生から「まだ勝てるチームじゃない！」と言われ続けて最終日、私たちは決勝の舞台に立っていた。緊張よりも楽しさが勝っていた。Attention Go！中間地点でトップに立つとそのまま僅差でゴール。夢にまで見た日本一、勝利の女神様が味方してくれたと感じた。勝ちを確信した瞬間、今まで支えてくださった人、仲間、両親、先生、コーチ、いろんな人の顔が浮かんだ。

大会前、コミュニケーションを重視して取り組み、ぶつかり合いながら絆を強くした。

そのツールである口から出たのは、この瞬間「ありがとう」の一言だけだった。支えて下さった方々に感謝を感動で返せたことが、私にとって何より嬉しかった。この気持ちを忘れずに、謙虚に行動（考動）し、もっと貪欲に、次の目標、国体制覇に向けて突き進んでいきます。

最後に、コロナ禍の中、大会を開催して下さった関係者の方々、本当にありがとうございました。

さて、ここで全日本大学選手権大会について朗報が入りました。関西チームにとっては先輩。私にとっては息子の後輩です。OBが活躍するのを嬉しく思う気持ちも有つつ、「何で日大ばっかやねん！」と日大に3年間優勝を阻まれ続けた明大時代の息子の戦績に思いを馳せてしまいます。



舵手付きフォアで山本卓哉(日大3)・小橋冬唯(日大2)が優勝。
《2年連続》



クオドプルで坂井洋友(日大1)が優勝
今夏のインカレ、7種目中6種目を日大が制覇『日本一』。凄い！
まさに日大祭り！！



新幹部発表

本来ならインハイの打ち上げを兼ねて宴会が繰り広げられるところですが、今年もコロナで大人しく掲示板でのご挨拶です。

主将になった2年の**田川**です。少し前に幹部発表がありました。それで自分は主将に選ばれました。呼ばれた時はびっくりしました。自分がキャプテンになるとは思ってませんでした。今の主将、あつきさんから田川らしくチームをまとめてくださいと伝えられました。自分はあまり人をまとめるのはあまり得意ではないですが、選ばれた以上逃げずに最後までやり遂げたいと思いました。そして、先生、たつきさんストレスを与えず、何も言われないチームにしていきたいと思います。そして今の三年生を超えるために、今から少しずつ努力してやっていきます。主将に選ばれ以上責任があるのでしっかりしてやっていきます。これから迷惑をかけるかもしれませんが頼れるキャプテンになれるように努力していきます。



2年の**石井大和**です。

自分は副キャプテン兼クルー長になりました。

選ばれたからには期待に応えられるよう自覚と責任誇りを持って頑張ります！

キャプテンの田川そしてチームを支えて目標である日本一を取って支えてくれている方々へ恩返しします！

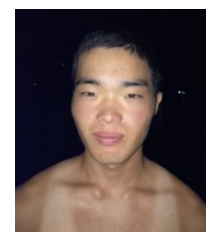


二年の**石井晴也**です。

自分は新チームの副キャプテンとして任命されました。

自分から周りをよく観察して自覚と責任を持ってチームを支える存在になります！

口だけでなく、自分から苦しい方へ飛び込んでボロボロになって晴也がいて良かったと周囲から思われるよう精一杯努力していきます！



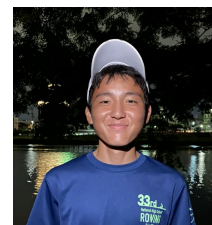
竹原諒です。

この度関西高校ボート部の副キャプテンになりました。

今の自分には重すぎるポジションですが、選んでもらったからには精一杯頑張ります！

しっかりと自覚と責任をもち他の人から頼られるような副キャプテンになります。

そして今まで先輩達が成し遂げてきた、日本1に自分たちもなれるように頑張りたいと思います！



2年の**岡本康佑**です。

自分は2023年の主務に選ばれました。選ばれたからには、COXとしてチームを引っ張っていくのはもちろん、漕手のサポートや雑務なども精一杯頑張っていきます！



令和のブカツは

第3部「歩み」

⑦ 激動

ドラマ再現 奇跡起こす

昭和の時代、「スポ根もの」と呼ばれた人気アニメやドラマがあった。バレーボールの「アタックNo.1」、野球の「キャプテン」、テニスの「エースをねらえ」…。部活動を舞台にしたヒット作も多い。「スポーツ+根性=感動」の方程式が成り立っていた。

1984年に始まったテレビドラマ「スクール☆ウオーズ」はこの物語は、ある学園の荒廃に闘いを挑んだ一人の教師の記録である」というナレーションで始まる。

校内暴力が吹き荒れた80年代は、教育現場にとって激動の時代。落ちこぼれのラグビー部が熱血教師の指導で目覚め、花園の頂点に立つ。強豪の京都・伏見工

高がモデルの「実話」は人々の心をつかんだ。放映当時、京都の大学でラグビーに打ち込んでいた森川幸夫さん(59)も「胸を熱くしながら見ていた」。卒業後、母校の関西高で教員となり、ドラマのような奇跡を起こすことになる。

■ □ ■

情熱注ぎ関西を強豪に



国体で3年連続優勝を果たし、祝賀会で部員と優勝カップを掲げる関西高の森川幸夫監督(右)。連覇は6まで伸ばした。2006年

持てないのか。勝たせてやりたい」。有力校を訪ねたり、日本協会に五輪メダリストを紹介してもらったりしてノウハウを学んだ。

就任10年目の97年、全国高校選抜かじ付きフォアで初めて日本一に。以降、獲得したタイトルは30以上。2004、09年はかじ付き4人スカルで国体6連覇を成し遂げ、08年は全国選抜とインターハイ、朝日レガッタを含め高校4冠と無敵を誇った。

森川さんにとって部活動の指導は挑戦の繰り返しだった。かつては、手はかかるが鍛えがいのある「ザ・男子校」だった生徒の気質も「おとなしく、野心を感じられなくなった」。根性論が響かない世代の選手に、今夏のインターハイでは、それぞれが想像する優勝の「ごほうび」を練習日誌に書かせたという。「自分で自分にニンジンをつくらなければならない」が僅差の決勝で最後の力を引き出し、かじ付き4人スカルでは11年ぶりの栄冠をたぐり寄せた。

昭和、平成、令和と時代をまたぎ35年。森川さんがポートと向き合ってきた時間は人生の半分を超えた。この間、部活動を取り巻く環境は激変し、向けられる視線も厳しくなった。昭和のスポ根ドラマで「愛のむち」として描かれた体罰は論外とはいえ、努力と成長の物語でさえ、勝利至上主義とたたかれない時代だ。

教員の負担軽減などに端を発し、部活動改革の議論が進む。重圧によるメンタル病や、胆のうがんも乗り越えながら、教え子に情熱を傾けてきた森川さんは来春の定年を前に日焼けした顔で語る。「自分は部活が大好きでやってきた。ただそれだけです」

(稲垣心也)

第3部「歩み」おわり。
第4部は部活動に携わる教員の実情をリポートします。

子供達が勝てば先生も取り上げられますね。・・・やっぱ、学生服がエエなあ!!
と、何処までもナナメ上から物を見てしまいますwww

この記事への感想が寄せられていました。写真左の18卒の若山キャプテンからでした。

保護者の感想投稿です

石井敦貴 父

何故でしょう？私までなんだか自分のことのように誇らしく感じて、朝から職場でみんなに自慢してしまいました。この先生が息子達を日本一にしてくれた人です。本当にすごいんです！と

部員のみんな、こんな名監督に鍛えてもらえること、日本一という目標を現実にしてくれる方のもとで部活ができることに誇りと希望を持ち、今の苦しみや辛さに耐えるばかりでなく、その先にある光、森川先生が示してくれる光を真っ直ぐに見て頑張りたいと思います。

田川大智 父

記事を読んで昔を思い出します・・・

森川先生がボート部の監督となられた年に私も一年生でボート部に入部しました。当時からとにかくアツい先生です。

情熱もビ〇タもたっぷり注いで頂きました。

0からのスタートで今や30以上のタイトルを獲得し、泣く子も黙る大明神・・・

いや名将となられ

今でもボートへ、子供達へ、情熱と愛を注ぎ続けられる姿は本当に凄いと思います。

「部活が大好きでやってきた。」

・・・大好きすぎです笑

国体を目の前にして、先生が先生みたいな事を掲示板に投下してきた。

《成功の心得 十ヶ条》

- 1 強く願う。
- 2 使命を知る。
- 3 自らを知る。
- 4 道にかなう。
- 5 必ず成功すると考える。
- 6 衆知を集める。
- 7 コツを知る。
- 8 一生懸命を突き抜ける。
- 9 成功するまで続ける。
- 10 素直な心になる。

これはパナソニック(旧松下電器産業)の創業者、松下幸之助の言葉です。今のあなたに足りないのは何れか??(よ～～く考えて欲しい!) やっぱりライバルは己の中にいるのでは??

1. 最大の危険は、夢を、情熱を このために自分は生まれたんだ！と思える何かを果たさずに人生を終えてしまうことです
2. 人には誰にでも 1 日に 3 回人生を変えるほどの素晴らしいチャンスが訪れているのですよ
3. チャレンジする勇気のない人ほど、人の失敗を喜ぶものです
4. 一歩前へその積極性があなたの人生を変える。（男子トイレに書いてあった言葉）
5. 前向き駐車
6. 今の自分と、そうありたいと思う自分の間にあるのはただひとつ、恐怖心です。そして、恐怖に対する唯一の最高の薬は、どんな時も行動なのです
7. あなたの人生を生きなさい。そうすれば、後悔することはありません
8. あたりまえのことを、バカみたいにちゃんとやる
9. 駆け足で時間を縮めようとする人は、道を失って時間を損する。
羊の群れをいち早く小屋に入れてしまおうと、あわてる羊飼いは、結局、その夜見失った羊を探し求めて、山上に夜を明かすことになるものだ。時の節約は急ぐことではなくて、確実にやることだ
10. 巻き起こった人生の出来事のすべては、私の選択、責任であり、私が源であった
11. 一日三時間せつせと歩けば、七年間で地球をひとまわり出来る
12. 成功とは正しい判断の結果である。正しい判断とは、経験の結果である。そして経験とは多くの場合、間違った判断の結果である
13. 一瞬一瞬を大切にすれば、時代の輝く星になることができる
14. 彼は昼夜を問わずせつせと働いた。遊びも楽しみもほとんど断った。新しいことを学ぶために退屈な本も読んだ。成功を得るために努力して前進した。誠実さと勇気を持って進み続けた。そうしてようやく成功すると、人々はそれを「幸運」と呼んだ
15. 言葉の前に心あり、言葉の後ろに行動あり
16. 賢者は愚者に学び、愚者は賢者に学ばず
17. 大人が本気で遊んだら、それが仕事になるんだ
18. 頭を使え。大事なのはちょっとしたことだ
19. 人に笑われるのは恥、人を笑わせるのは芸。
20. 明日への扉は、自動ドアじゃない

栄光への軌跡第五部に続く